

Japan Animal Welfare Society **Jaws** REPORT

視察報告
コツメカワウソのふれあい施設
第41回世界獣医師会大会に参加して
犬猫以外の哺乳類に関する動物取扱業基準省令案への意見書提出について
ロビー活動のご報告

特集
人と動物の共通感染症を正しく恐れる

本書の無断転載、複製、複写(コピー)、翻訳を禁じます。

表紙モデル: HADES さん

公益社団法人 日本動物福祉協会

〒141-0022東京都品川区東五反田5-21-15メタリオンOSビル2階

TEL: 03-6455-7733 FAX: 03-6455-7730



目次

◆特集

人と動物の共通感染症を正しく恐れる

03 | 05

◆視察報告（コツメカワウソのふれあい施設）

06 | 07

◆第41回世界獣医師会大会に参加して

08

◆ロビー活動のご報告

09

◆犬猫以外の哺乳類に関する

動物取扱業基準省令案への意見書提出について

10

◆2026年度セミナーのお知らせ
&動物福祉市民講座修了認定試験

11

◆支部だより（栃木支部）

12

◆2025年度不妊去勢手術助成事業報告・お知らせ

13

◆ジュニアコーナー

14 | 15

◆事務局からのお知らせ&報告

16 | 17

◆寄付者ご芳名

18 | 19

◆会員継続と会費納入について

20

Jaws REPORT

ジョーズ・レポートVol.99

発行人：黒川光隆
編集人：宇野 治 / 町屋 奈

公益社団法人 日本動物福祉協会

〒141-0022
東京都品川区東五反田5-21-15メタリオンOSビル2階
TEL：03-6455-7733
FAX：03-6455-7730
URL：https://www.jaws.or.jp

令和8年8月25日発行

人と動物の共通感染症を 正しく恐れる

帝京科学大学生命環境学部 教授
獣医師・博士（獣医学） 佐伯 潤

最近、イヌやネコなど身近な動物から人に感染する病気が注目されていますが、これらの感染症は、正しくは人と動物、そして自然環境を行き来している感染症と考えるべきで、以前からたくさん存在しています。例えば、インフルエンザは多くの方が知っている感染症ですが、病原体であるインフルエンザウイルスは、野生の渡り鳥とその生息地に存在し、渡り鳥の移動に伴って、ニワトリなどの家禽、ブタなど多くの動

物に感染し変異し、さらに人に感染するように変異する場合があり、それが新型インフルエンザと呼ばれています。人と動物の共通感染症の病原体は、ウイルスや細菌、寄生虫など様々で、人に感染する経路も、咬まれるなどにより直接感染する病気のほか、マダニや蚊などが媒介する病気など多種多様です。人への感染力や病原性も様々な要因によって異なり、一概に言うことはできません。以前は、一部の動物にかかわる

仕事をする人達だけが感染するリスクが高い病気でしたが、イヌやネコが家族の一員と考えられるようになり、共に生活するようになったことで注目されるようになってきました。

感染症について正しい知識を持つことは、「知るワクチン」とも言われます。感染症について知るうえでの重要なポイントは感染源、感染経路、感受性個体の3つです。「感染源」として病原体の種類やその特性を知るとはとても重要

で、消毒薬の感受性や予防や治療に関係します。例えばウイルスには、アルコール系の消毒薬が効く種類と効かない種類とが存在します。感染を防ぐためには、その病気がどのように人や動物に感染するのか「感染経路」を知ることが重要です。具体的には排泄物や咬傷などを通じて直接感染するのか、蚊やマダニなど吸血する昆虫などを通じて間接的に感染するか、口から入ることで感染するのか、空気や飛沫を通じて感染す





るかなどです。さらに、どのような動物が感染するか、種類の異なる動物間でも感染するのか、人にも感染するのか、人同士でも感染が広がるのかなどが「感受性個体」についての情報も必要です。これらは正しく恐れるためにとても大切な知識となります。

最近特に問題になっている人と動物の共通感染症として、重症熱性血小板減少症候群があります。重症熱性血小板減少症候群は、英語ではSevere Fever

with Thrombocytopenia Syndromeであることから、頭文字をとって、SFTSと呼ばれています。イヌやネコへの感染や、さらにイヌやネコから人への感染が注目されていますが、本質的には「ウイルスを保有するマダニを介して感染するダニ媒介感染症」です。2011年に中国の研究者らによって報告され、日本では、2013年に最初の患者の発生が報告されており、中国、韓国、東南アジアで感染者が報告されています。感染すると発熱や倦怠感、嘔吐や下痢などが初期症状で、重症化すると死亡することもあります。病原体はSFTSウイルスで、エンペロープという構造があるため、アルコールでの消毒が有効です。人や

イヌ・ネコへの感染経路は、マダニによる吸血が主な経路です。しかし、感染したイヌ・ネコの血液・唾液・尿や便にも多くの病原体が含まれており、眼の結膜などの粘膜、皮膚の小さな傷に接触したり、咬まれたりすることでも感染する恐れがあります。また、感染した人の血液等からも感染することが報告されています。人や多くの動物種に感染しますが、イノシシやシカ、アライグマなどの野生動物では感染しても発症はせず、感染を広げる役割を果たしています。近年、これら野生動物が増加し、その中でも特に外来生物であるアライグマは都市部でも活動するため、人やイヌ・ネコへの感染リスクを高める存在となっています。犬

や猫は、マダニの吸血によって感染して発症し、ネコではイヌに比べて重症化する傾向があり、死亡することが多くなっています。人では、軽症で経過する場合もありますが、特に高齢者で重症化のリスクが高く、現在までの死亡例もほとんどが高齢の方です。

SFTSについて、感染源、感染経路、感受性個体に注目しながら、人やイヌ・ネコへの感染を防ぐポイントについて考えます。感染経路をしっかりと理解することが重要です。まずはマダニに刺されないことが重要です。野山に行く際には、長袖・長ズボンで肌の露出を少なくし、マダニを寄せ付けない忌避剤を使用することが推奨されます。イヌ・ネコに対しては、マダニの

駆除剤の使用が勧められますが、マダニも吸血を完全に防げない可能性があります。ウイルスを持ったマダニを運ぶ役割をするアライグマを寄せ付けないためには、ゴミの捨て方に注意することも必要です。感染したイヌ・ネコから人へ感染する可能性もあります。感染したイヌ・ネコでは、ウイルスが唾液や血液、排泄物に多量に排泄されます。世話をする際には手袋やマスク、眼鏡等を付けて身を守る必要があります。その際、消毒には消毒用アルコールが有効です。特にネコでは重症化しやすいため、野外で具合の悪そうなネコを保護しようとする際には感染のリスクが非常に高いことを念頭に入れて咬まれたり排泄物に触れないように細心

の注意を払う必要があります。マダニから、あるいはイヌ・ネコからの感染のいずれにおいても、高齢の方は重症化しやすいことから、十分な注意と体調が悪化した場合には、早期に病院を受診することが重要です。

正しい知識を持って、正しく恐れることが人への感染とイヌ・ネコ達を守るためには大切です。この記事が少しでもお役に立ち、動物達との楽しい生活を守る一助になりましたら幸いです。



● SFTS の詳細は以下の厚生労働省等の情報をご確認ください。

< 病気の概要 >

- ・ 厚生労働省 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）について
(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000169522.html>)
- ・ 国立健康危機管理研究機構 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）
(<https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/severe-fever-with-thrombocytopenia-syndrome/index.html>)

< 発生状況 >

- ・ 国立健康危機管理研究機構
国内外における重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の発生状況について
(<https://id-info.jihs.go.jp/risk-assessment/severe-fever-with-thrombocytopenia-syndrome/20240801/index.html>)



視察報告



コツメカワウソ

ふれあい施設

1. コツメカワウソの生態

近年、動物カフェ等においてコツメカワウソの飼養事例が増加しています。コツメカワウソは東南アジアの河川・湿地・マングローブ林などに生息し、水辺環境に高度に適応した動物です。

遊泳や潜水を頻繁に行い、採餌や探索行動の多くを水中で実施するなど、行動学的にも水環境への依存性が高い種とされています。十分な水域を確保するためには約 12㎡（畳約 8 畳分程度）の水面が必要とされる報告もあります。

また、知能が高く社会性が強いことから、環境変化への反応性が高く、適切な刺激やエンリッチメント、隠れ場所や休息環境の確保が不可欠です。不十分な環境下では、常同行動などの行動異常が生じることが知られています。

2. 視察結果

(1) ふれあいスペース

当該スペースでは、3～4 頭のコツメカワウソが飼養され、来場者が直接接触できる構造となっていました。

しかし、水場は設置されておらず、個体が退避できる隠れ場所も確認できませんでした。毛布や玩具（アクリルストーン等）は設置されているものの種類は限定的であり、探索行動や環境刺激としては十分とはいえない状況でした。

給餌はドライフード（キャットフード）や魚を皿で与える方式であり、野生下で見られる採餌行動（探索・捕食行動）を引き出す環境設計にはなっていませんでした。

なお、従業員による監視体制は一定程度確保されており、誤飲等があった際には速やかに対応する様子が確認されました。



(2) 給餌スペース

来場者による給餌体験が行われるスペースでは、水場が 2 か所設置されており、約 20 頭の個体が交代で利用していると説明がありました。

しかし、水場は小規模かつ浅く、遊泳や潜水行動を十分に満たす構造ではありませんでした。また、水質はやや濁りが確認され、衛生管理面にも課題が見受けられました。



さらに、水場以外では、各個体は個別ケージで管理されていましたが、ケージは体格に対して狭く、起立時に頭部が天井に接触するなど、自然な姿勢や移動行動が制限される構造となっていました。

床面は金網状であり、四肢や肉球への負担が懸念される構造でした。加えて、一部個体には常同行動が疑われる行動や、無気力な状態が観察されました。



3. まとめ

今回の視察では、コツメカワウソが本来必要とする十分な水場や隠れ場所が確保されておらず、泳ぐ、探索する、休息するといった自然な行動が制限されている状況が確認されました。また、一部の個体には常同行動が疑われる行動や無気力な様子が見られ、飼養環境が動物の心身に影響を及ぼしている可能性が示唆されました。

特に、狭いケージでの管理や来場者との接触を避けられないふれあい環境、十分な水場が確保されていない飼養環境については、動物福祉の観点から課題があると考えられます。

一方で、スタッフは動物の状態によく目を配り、日常的な管理に努めている様子が確認されました。しかしながら、約20頭のコツメカワウソを飼養する施設としては、個体ごとの健康管理や行動管理、環境エンリッチメントの実施状況を踏まえると、飼養頭数に対して人員体制が十分であるかについて懸念が残りました。

今後は、コツメカワウソが十分に泳ぐことのできる水場の整備、隠れ場所の設置、飼育スペースの拡充、環境エンリッチメントの充実に加え、適切な飼養管理を継続的に実施できる人員体制の確保が求められます。しかし、当該施設は雑居ビル内に設置されていることから、種の特性に適した環境を十分に整備・維持することは容易ではなかったと考えられました。

近年、このような施設では、コツメカワウソが絶滅危惧種であることを理由に「保護」を掲げる例も見られます。しかし、動物本来の行動要求を満たし、十分な動物福祉が確保された環境でなければ、その飼養が真に保護に資するものといえるのかについては慎重な検討が必要です。

今後も、観光資源として利用される野生動物の飼養のあり方について、動物福祉の視点から継続的に検証していくことが求められます。なお、当該施設については、飼養管理及び飼養環境の改善を求めるため、管轄自治体へ報告を行いました。



第41回



世界獣医師会大会に参加して



獣医師 町屋 奈



4月21日から24日にかけて東京国際フォーラムで開催された第41回世界獣医師会大会に参加した。本大会のテーマは「ワンヘルスで

世界の獣医療が示す未来」であり、世界各国の獣医師、研究者、行政関係者が集い、獣医学や公衆衛生、動物福祉に関する最新の知見について活発な議論が行われた。

私が主に参加した動物福祉関連セッションでは、動物の感受性（Sentience）やコンパニオンアニマル福祉、シェルターメディスンなどが取り上げられた。近年、動物福祉は単に苦痛を軽減するだけでなく、動物がポジティブな経験を得られる環境や生活の質（QOL）の向上を重視する考え方へと発展していることが紹介された。また、欧州では動物の感受性を法制度や政策決定に反映する動きが進んでおり、科学的知見を社会へ実装していく重要性について学ぶことができた。

コンパニオンアニマル福祉に関する講演では、各国が抱える課題とその対応について紹介された。台湾ではノーキル政策の推進により殺処分数は減少したものの、シェルターの過密化や長期収容による福祉上の課題が生じていることが報告された。一方、スウェーデンでは動物の自然行動を重視する考え方が社会に浸透しており、犬が重度の四肢障害を負った場合には安楽死が選択肢となるケースが多いという。しかし実際には断脚されて三肢でも快適な生活を送る犬は少なくなく、動物の生活の質や医療技術の進歩をふまえ、従来の価値観を見直す必要性や、それに伴う倫理的な葛藤が生じていることが紹介された。これらの事例から現場

における動物福祉上の判断には単純な正解はなく、それぞれの状況に応じてバランスの取れた対応が求められることを改めて認識した。

また、本大会ではワンヘルスを超えた「ワンウェルフェア（One Welfare）」の議論が盛んであったことが特に印象に残った。動物福祉と人の福祉は密接に関連しており、獣医師や動物看護師、シェルター職員など、動物を支える人々のウェルビーイングも同時に考える必要がある。加えて共感疲労（コンパッション・ファティグ）や職業的ストレスへの対応についても議論され、持続可能な動物福祉の実現には、人と動物双方の幸福を支える視点が不可欠であることを学んだ。

今回の大会を通じて、獣医療は疾病の予防や治療だけでなく、人と動物が共により良く生きる社会の実現に貢献する役割を担っていることを改めて認識した。今後も国際的な動向や科学的知見を学びながら、業務を通じて動物福祉の向上に貢献していきたい。



ロビー活動のご報告

4月から6月にかけて、自由民主党所属の国会議員7名に対し、動物福祉（AW）および関連制度について以下の陳情を行いました。



神田潤衆議院議員



大空幸星衆議院議員



永岡桂子衆議院議員

【環境省関係】

★ 緊急一時保護制度の創設

- ➡ 虐待・危険状態の動物を迅速に保護できる法的枠組みの整備

★ 虐待加害者による飼養禁止

- ➡ 虐待者に対する再飼養防止制度の創設

★ 野生動物カフェの規制強化・実態調査

- ➡ 動物福祉および公衆衛生リスクへの対応強化

★ 野生動物のペット飼養種制限（入口規制）

- ➡ 霊長類の原則禁止を含む規制強化 など



五十嵐清衆議院議員



東野秀樹参議院議員

【農林水産省関係】

★ 動物福祉（AW）科学諮問委員会の設置

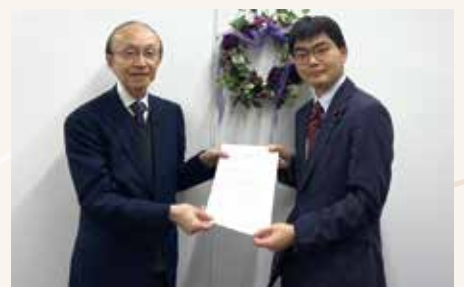
- ➡ AW 政策を継続的に検証する常設の専門家会議の設置

★ と畜場・食鳥処理場の AW 基準強化

- ➡ 食鳥処理工程でのスタニング（気絶処理）の義務化
- ➡ 係留施設への飲水設備設置の義務化

★ 災害時の動物福祉体制の整備

- ➡ 重篤家畜への人道的対応の制度化
- ➡ 災害対策基本法における獣医師の役割明確化 など



長田紘一郎衆議院議員



進藤金日子参議院議員

犬猫以外の哺乳類に関する 動物取扱業基準省令案への 意見書提出について



環境省は、昨年度末に「第一種動物取扱業者及び第二種動物取扱業者が取り扱う動物の管理の方法等の基準を定める省令」の一部改正案についてパブリックコメントを実施した。今回の改正案では、犬猫以外の哺乳類を含む動物の飼養管理や、動物との接触展示（ふれあい展示）に関する基準の見直しを検討されており、動物福祉の向上に向けた重要な制度改正であることから、当協会として次のとおり意見書を提出した。

「幼齢個体を用いた接触展示について」

改正案では、目が開いていない個体や被毛が生えていない個体など、極めて幼齢な動物との接触を制限する方向性が示されているが、幼齢個体の福祉を確保するためには外見上の発育状況のみを基準とするのでは不十分であると考えられる。哺乳類の幼齢個体は神経系や免疫機能が未成熟であり、母子関係の形成や社会化を学習する重要な発達段階にあるため、母子関係や行動

発達への影響を考慮した基準を設ける必要があることを提案した。また、幼齢個体を集客目的で利用することは、過剰繁殖や不適切な飼養管理につながるおそれがあることから、より慎重な制度設計を求めた。

「野生動物との接触展示について」

野生動物は家庭動物と異なり、人との接触に適応していない種も多く、接触そのものが大きなストレスとなる場合がある。また、人獣共通感染症の観点からも注意が必要であり、特に霊長類については感染症リスクや高度な社会性への配慮が求められる。このため、家庭動物と野生動物を明確に区別し、野生動物を用いる接触展示については、より厳格な基準やガイドラインを設けるべきであると提案した。

「犬猫以外の哺乳類に関する人員配置基準について」

改正案では一律の数値基準は設けない方向となっているが、適切な飼養管理を確保するためには、飼養動物の種

類や頭数、施設規模、業務内容などに応じて十分な人員を配置する必要がある。特に接触展示を行う施設では、動物の状態を常時観察し、来場者の行動を適切に管理できる体制を整えることが重要であることを指摘した。

「飼養環境について」

単に飼養スペースを確保するだけでなく、種ごとの自然行動や生態に配慮した環境整備を重視すべきであるとした。環境インリッチメントの充実や異常行動の予防、観察・記録を健康管理の一環として位置付けることに加え、展示やふれあい活動に利用される動物についても、休息や行動の自由が十分に確保される環境基準を設けるよう求めた。

「夏季の屋外演芸等における動物利用について」

高温多湿環境による熱中症や脱水などの健康被害リスクが高いことから、原則として禁止又は厳格な制限を設けるべきである。

2026年度セミナー・研修会日程一覧

※スケジュールは、都合により変更になる可能性があります。 詳細は当協会HPにて随時更新いたします。

講座名・対象	定員	概 要	日 程	開催方法	開催場所	備考
第1回 シェルター・メディスン・セミナー ＜どなたでも参加可＞	100	・シェルターメディスン概論 ・群管理 ・犬の事を正しく理解しましょう	2026年 7月11日(土)	会場のみ	日本獣医生命科学大学 (東京都)	B511 教室
第2回 シェルター・メディスン・セミナー ＜どなたでも参加可＞	100	・群管理・収容環境・ワクチン接種など ・猫の行動学 ・自治体からの報告	2026年 10月10日(土)	会場のみ	日本獣医生命科学大学 (東京都)	B511 教室
第3回 シェルター・メディスン・セミナー ＜どなたでも参加可＞	100	・獣医災害学概論 ・シェルターでのボランティア活動 ・自治体からの報告	2026年 12月5日(土)	会場のみ	日本獣医生命科学大学 (東京都)	E111 教室

講座名	定員	概 要	日 程	開催方法	開催場所	備考
動物災害対策研修会 ＜自治体職員・獣医師対象＞	100	・災害対応概論・ペットの防災対策 ・ペット防災への取り組み ・地方自治体が行う災害時対策 ・産業動物の防災対策 ・日本獣医師会の取り組み ・災害時のシェルターメディスン	2026年 10月17日(土)	会場のみ	日本獣医生命科学大学 (東京都)	E111 教室

講座名	定員	概 要	日 程	開催方法	開催場所	備考
RSPCA (英国王立動物虐待防止協会) インスペクター短期研修会 (仮)	50	・RSPCA について ・動物福祉の基本 ・英国での通報から改善までの対応 ・ペットとして飼育される野生動物問題 ・国連などの動物に関する世界の動向	2026年 11月28-30日 (3日間)	会場のみ	日本獣医生命科学大学 (東京都)	B314 教室
RSPCA (英国王立動物虐待防止協会) 生命尊重教育セミナー (仮) ※1	50	・動物福祉教育の概念とツール ・命の尊重の実践的指導 ・授業計画、活動デザイン等	2027年 2月20-21日 (2日間)	会場のみ	日本獣医生命科学大学 (東京都)	B312 教室

※1 現時点で、今年度開催は未定です。



2026年度動物福祉市民講座(全10回)



講座名	概 要	日 程	開催方法	開催場所	備考
第1回 動物福祉市民講座	動物福祉学概論 動物福祉学について	2026年 4/13～4/27	配信のみ	—	無料
第2回 動物福祉市民講座	動物虐待について 動物虐待と対人暴力の連動性「LINK」	2026年 5/11～5/25	配信のみ	—	無料
第3回 動物福祉市民講座	実験動物福祉の現在地 代替法について	2026年 6/15～6/29	配信のみ	—	無料
第4回 動物福祉市民講座	犬の行動学 (仮) 猫の行動学 (仮)	2026年 7/13～7/27	配信のみ	—	無料
第5回 動物福祉市民講座	ペットの災害対策 (仮) 家庭の獣医学・応急処置 (仮)	2026年 8/10～8/24	配信のみ	—	無料
第6回 動物福祉市民講座	産業動物の福祉 (仮)	2026年 9/14～9/28	配信のみ	—	無料
第7回 動物福祉市民講座	人と動物の関係学 (仮) と畜場の動物福祉 (仮) 万が一のための準備 (仮)	2026年 10/13～10/27	配信のみ	—	無料
第8回 動物福祉市民講座	地域猫活動とは (仮) 動物カフェなどの福祉 (仮) 野生動物の福祉 (仮)	2026年 11/9～11/24	配信のみ	—	無料
第9回 動物福祉市民講座	展示動物の福祉 (仮)	2026年 12/7～12/21	配信のみ	—	無料
第10回 動物福祉市民講座	法律から考える動物問題 (仮)	2027年 1/12～1/26	配信のみ	—	無料
動物福祉市民講座修了認定試験 ＜全10回受講された希望者対象＞	講座内容から 合計100問の五肢択一形式	受験申込 2027年1月予定 試験日 2027年3月予定	実開催 のみ	日本獣医生命科学大学 (東京都) B311 教室	有料

2026年3月に第2回動物福祉市民講座修了認定試験を実施いたしました。
2026年度も全10回の講義を受講された方を対象に、動物福祉市民講座修了認定試験を実施いたします。

栃木支部だより

支部長 川崎 亜希子



企業の施設内における 駆除業者による猫の駆除問題

宇都宮市内の企業敷地内において、駆除業者による猫の駆除が行われているとの内部通報が寄せられました。当支部では、駆除業者に引き渡される前に猫1匹を保護することができましたが、そ

れ以前に捕獲され、駆除業者へ引き渡された2匹の猫については、その後の状況が確認できていません。

猫の安否を確認するため当該業者へ連絡を行いました。誠実な説明は得られず、高圧的な対応もみられました。また、本件を通報した関係者が即日解雇されたとの情報もあり、事実であるならば、動物福祉上の問題に加え、深刻な労務上の問題も生じています。

当支部からは宇都宮市をはじめとする関係行政機関及び本部からは環境省へ情報提供を行いました。愛護動物を所管する宇都宮市保健所からは、捕獲方法によっては「動物の愛護及び管理に関す

る法律」上の虐待に該当する可能性があることなどについて指導が行われています。

さらに、当該業者は有害鳥獣駆除に必要な許可を取得していなかった可能性もあることから、関係機関と情報共有を行いながら、関係法令に基づく手続きが適切に行われていたかについて確認を進めています。

事業者が敷地内に生息する野生動物への対応に苦慮することは理解できます。しかし、結果的に猫などの愛護動物が捕獲された場合、安全な場所へのリリースや管轄自治体への相談など「動物の愛護及び管理に関する法律」をはじめとする関係法令に基づき、適正な対応を実施する必要があります。

本件では、企業側において動物に関する法令や適正な対応方法についての理解が十分ではなかった可能性があり、その結果として不適切な対応につながったと推測されます。また、駆除業者についても、有害鳥獣駆除に必要な許可を取得していなかった可能性があるほか、問い合わせに対する対応状況などから、法令遵守に対する意識に重大な疑問を抱かざるを得ません。

動物問題への対応を外部業者へ委ねる場合であっても、依頼する側には、その業者が適法かつ適正な業務を行っているかを確認する責任があります。本件は、動物福祉の問題にとどまらず、企業及び事業者のコンプライアンス意識や法令遵守の重要性を改めて示した事案であると考えています。

今後とも関係機関と連携しながら事実関係の確認を進めるとともに、関係法令に基づく適切な対応が図られるよう求めてまいります。



駆除業者に引き渡される前に保護できた猫

2025 年度「JAWS 不妊去勢手術助成事業」最終結果報告

犬猫の不妊去勢手術費用の一部を助成する本事業は、これまで実施していた「いぬねこ不妊去勢手術推進キャンペーン」と「JAWS のら猫キャンペーン」を統合した新たな事業として、2025 年度に開始しました。

本事業では、当協会会員ならびに一般個人（非会員）の方を対象に、飼い主のいない犬や猫の不妊去勢手術費用の一部を助成しています。本部のほか、神奈川県、栃木県、長野県、大阪府、兵庫県にお住まいの方については、最寄りの支部にて助成申請を行うことができます。

全国各地の皆様から多くの申請をいただき、本部では 669 頭、支部では 1826 頭、合計 2495 頭の不妊去勢手術費用を助成しました。ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

本事業は、飼い主のいない犬や猫の不妊・去勢手術費用の一部を助成することで、不幸な命が増えることを防ぎ、人と動物が共生できる社会の実現に向けた活動を支援しています。

助成頭数

	メ ス		オ ス		合計
	猫	犬	猫	犬	
本部会員	320	5	254	3	582 頭
一般（非会員）	49	0	38	0	87 頭

<支部助成金>

各支部においても、不幸な犬や猫を 1 匹でも減らすため、不妊去勢手術費用の助成を実施し、不妊去勢手術の普及に努めています。手術の総助成頭数の内訳は以下の通りです。

	メ ス		オ ス	
	猫	犬	猫	犬
支部合計助成頭数	846	93	857	30
本部合計助成頭数	369	5	292	3
本部・支部合計助成頭数	1215	98	1149	33
合 計	2495 頭			

2026 年度「JAWS 不妊去勢手術助成事業」のお知らせ

当協会会員ならびに一般個人（非会員）の方を対象とした、犬猫の不妊去勢手術の助成金制度です。本部の他に、神奈川県、栃木県、長野県、大阪府、兵庫県の各地域にお住まいの方は、お住まいの近くの支部で助成金の申請が可能です。詳しくはお近くの支部までお問い合わせください。

上記以外の地域にお住まいの方は、本部までお問い合わせください。

募 集 要 項	
対象動物	原則 飼い主のいない猫と犬
対 象	当協会個人会員及び一般個人（非会員） 本事業は当協会の活動にご賛同いただいております方を対象としております。 ※一般個人（非会員）の方は事務手数料 3,000 円を事前にお支払いいただきます。 ※当協会支部会員の方及び支部の担当地域（神奈川・長野・栃木・大阪／兵庫）在住の方は、各支部にお問い合わせください。
手術期間	2026 年 4 月 1 日（水）～ 2027 年 2 月 28 日（日）まで
助成金額	一律 5,000 円（5,000 円未満の手術費用は申請不可）
条 件	1 会員上限 5 頭／年 ※申請は、同一住所 2 名までと限らせていただきます。
申請期間	2026 年 4 月 1 日（水）～ 2027 年 3 月 3 日（水）必着 予算がなくなり次第、期間内であっても終了となります。
申請方法	下記①～⑥までを JAWS まで郵送ください。不備があると申請の受理ができません。 ① 申請書※(1)(2) ④ 耳カットの写真（※猫のみ） ② 請求書※(3) ⑤ 手術跡の写真（手術跡は麻酔が効いている状態のほうが撮影しやすい） ③ 病院印付きの医療明細書（原本）※(4) 領収書のみは不可 ⑥ 官製はがき 1 枚（表面に申請者の住所・氏名記入済のもの）※(5) ①②は当協会ホームページからダウンロード又は希望者には FAX・郵送いたします。 ※(1) 一頭につき一枚ご用意ください。 ※(2) 会員様と非会員様で申請書が異なります。該当する申請書をご使用ください。 ※(3) 1 申請につき 1 枚で結構です。 ※(4) コピー不可。助成金申請者（会員様）と明細書の宛名の相違がないようにお願いします。また、病院印または獣医師の印を押したものをお願いします。 領収書だけの場合は、病院等の捺印の他に金額の内訳がわかるものを添付すること。 ※(5) 1 申請につき 1 枚で結構です。
助成金のお振込	当月 15 日までに受付した申請に関しては、当月 24 日前後に指定口座へのお振込みとなります。 当月 16 日以降の分に関しては翌月 24 日前後のお振込みになります。
注意事項 (必ずご一読ください)	○ 申請は、同一住所 2 名までと限らせていただきます。 ○ 支部のある地域（神奈川県・栃木県・長野県・大阪府・兵庫県）にお住まいの方は、各地域の支部へ直接お問い合わせください。 ○ 支部・連絡所については当協会HP⇒ https://www.jaws.or.jp/about01/about02/ ○ 不妊去勢手術費以外の費用（ワクチン、ノミダニ予防、ウイルス検査等）は、助成金の対象にはなりません。また、手術費用が 5,000 円未満の場合にも助成金の対象にはなりません。 ○ 申請書を受理した時点で、残り助成可能頭数を数えております。タイミングによっては書類到着時点で予算に達している場合もございますので予めご了承ください。 ○ 申請個体に対し、行政などから別途助成金や補助金が支払われる場合には、支援の公正・公平を図るために、当協会の助成対象とはなりません。
お問い合わせ 送 付 先	電話：03-6455-7733（平日 9：00～17：00） 〒141-0022 東京都品川区東五反田 5-21-15 メタリオン OS ビル 2F 「JAWS 不妊去勢手術助成事業」係

どうぶつカフェの やせいどうぶつ



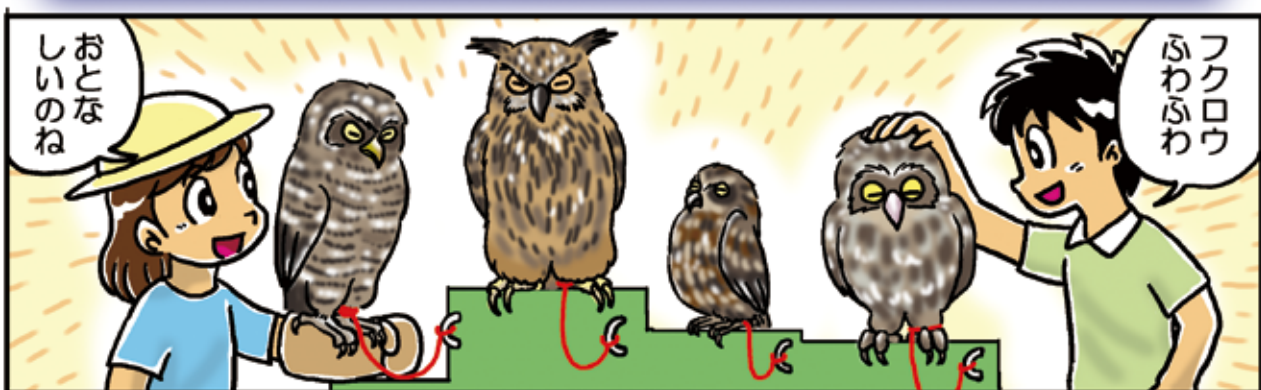
ココカラ
ニゲタイ

ニゲタイ
ニゲタイ



ニンゲン
コワイ

コワイ
コワイ



マブシイ
マブシイ
ヒトリニ
ナリタイ



ニゲラレナイ



ツナガレテ



ナデルナ
サウルナ
トンデ
ニゲタイ



たのしんでいるのは にんげんだけ・・・？



ぼくたちを たいせつに おもって くれるのなら ぼくたちに さわって にんげんだけが たのしむのじゃ なくて しぜんの中で なかまと くらす ぼくたちを みまもって ほしい ぼくたちの 生きる しぜんを こわさないで ほしい



事務局からのお知らせ & 報告

JAWSグッズのご紹介

犬と猫のグリーティングカードが、新しい装いで再登場しました。お散歩やお昼寝など、動物たちの愛らしい日常が描かれていて、受け取った方の心をふっと和ませてくれます。ご自宅用にも、贈り物にもおすすめです。その他、Tシャツやポロシャツ、コットンポーチ、ステンレスボトルなど、毎日使えるアイテムも多数ご用意しています。イベントやバザーのほか、ホームページからもご購入いただけます。



JAWSグッズの詳細はこちらから



▲NEWグリーティングカード 犬柄/猫柄 各4枚入 1,100円

当協会の獣医師調査員が監修した「動物福祉」の基本が学べる入門書「はじめての動物福祉」が発売されました。家畜からペットまで、動物の健康と幸せを守るための「動物福祉」について、世界と日本の取り組みや考え方をマンガやイラストを交えてやさしく解説しています。ぜひこの機会にお求めください。

【書籍】はじめての動物福祉：▶
動物と人の幸せなくらしを考える
4,400円



2027年版JAWS オリジナル動物カレンダー



皆さまからお寄せいただいたペットの写真でつくるオリジナル動物カレンダーは、毎年、大好評です。今年も思わず笑顔になる写真が続々と届いていて、出来上がりに期待が高まっています。カレンダーの下部に書き込み欄があるので、ちょっとした予定をメモしておくのにもぴったりです。ご自身の予定はもちろん、ご家族の予定もひと目でわかるので、飾って使って嬉しいカレンダーになっています。



◀見開きA3サイズ/
1部1500円+送料別

お申込み・お問い合わせはこちら

10月末ごろ完成予定で、カレンダー購入のお申込みはお電話・グッズ販売サイトより随時受け付けています。

電話：03-6455-7733



【理事会報告】

2026年1月度

- ・2026慈善ビングロ会開催要領承認
- ・公益法改正に伴う規則類改正案審議
- ・後援名義使用承認 他

2026年2月度

- ・2025年度決算方針、2026年度予算策定方針承認
- ・シエルターメディスン社会連携講座期間延長承認

2026年3月度

- ・2026年度事業計画承認
- ・2026年度予算承認
- ・公益法改正に伴う定款・規則類改正案承認 他

2026年4月度

- ・2025年度事業報告承認
- ・2025年度総会招集、議案等承認
- ・第67回動物愛護の作文コンテスト実施要領承認 他

2026年5月度

- ・2025年度監査済計算書類／総会資料承認
- ・年間表彰受賞者承認 他

2026年6月度

- ・内閣府定期報告提出承認
- ・後援名義使用承認
- ・顧問改選承認 他
- ・支部役員改選承認 他

【2025年度定時社員総会報告】

開催日時・場所：2026年6月20日（土）
13時30分から

オフィスサークルN五反田
大セミナー室にて

決議事項…

- ① 第1号議案 定款変更の件
- ② 第2号議案 令和7年度計算書類承認の件
- ③ 第3号議案 理事11名選任の件
- ④ 第4号議案 監事2名選任の件

原案通り可決・承認された。

報告事項…

- ① 報告事項 2025年度 事業報告
- ② 報告事項 2026年度 事業計画
- ③ 報告事項 2026年度 予算



使用済み切手、未使用ハガキ・切手を送ってください！

全国の皆様からのご厚情で送っていただいた切手やハガキは、犬猫の不妊・去勢手術の助成金や動物救護活動などに、有効に役立っています。業者指定のサイズにボランティアの方々がトリミングをして下さっていますが、右記の通りにお送りいただければ助かります。

あまり手間いらずで、動物たちにすぐ役立てられますので大歓迎です。少量でも構いません。皆様の温かいご協力をお待ちしています！尚、正式なお礼状が必要な方はその旨をお知らせいただくか、メモ等に「お礼状希望」と記載の上、同封してお送りください。



切手の処理方法

- ① 切手の周りは5ミリ外側を切る。
 - ② 消印の部分は不要
 - ③ 外国切手は区別する(少し高く売れます)
- 未使用ハガキ・未使用切手

例



会費等の振込が便利になりました



会費の振込方法が以下3つになりました

①郵便局・コンビニ

従来の郵便局・コンビニへ振込用紙を直接、持参して振込（振込用紙は毎年4月頃郵送）。コンビニ支払期日を経過した用紙は郵便局で使用可能です。

※会費と同時に寄付金をご支援くださる方は、郵便局にて振込用紙を下記例のように金額訂正の上、ご送金をお願い致します。

②WEB決済（クレカ決済）

2022年4月より会費納入が郵便局やコンビニに足を運ばずに、PC・スマホ・タブレット等のweb上でクレジットカード決済ができるようになりました。ご希望の方は supportus@jaws.or.jp へタイトルに会費納入希望と記載の上、「氏名」、「登録電話番号」をお知らせください。

※会費と同時に寄付金納入をご希望の方は、「寄付金額」、「寄付金使途」、「領収書の有無」と上記2点に加えてお知らせください。

③口座振替

「年1回の会費」及び「定期的な寄付」を、都度の振込手続がいらぬ便利な口座振替にできます。ご希望の方は事務局までお知らせください。

例

払込取扱票		通常払込料金加入者負担	
02 東京		金額	5000
		金額	3000
加入者氏名	公益社団法人 日本動物福祉協会	料金	
〒141-0022 東京都品川区 東五反田 ○ー△ー□		備考	
ご依頼人・通信欄	福祉 愛子		
《本部控え》			
代行業社ヤマトシステム開発(株) 支払期日 2017年8月13日			
※この用紙は、大切に保管してください。			

一般寄付 2,000

《店舗控え》

振替払込請求書兼受領証

振替払込請求書兼受領証	
口座番号	**** *
加入者氏名	公益社団法人 日本動物福祉協会
金額	00
〒141-0022 東京都品川区 東五反田	
ご依頼人	福祉 愛子
料金	
備考	

私込受領書
(お客様控え)
(コンビニエンスストア用)

私込受領書	
振込人氏名	福祉 愛子
振込コード	2335
金額	3,000
代行業社ヤマトシステム開発(株)	
コンビニエンスストア 収 入 用	
収入印紙貼付欄	
受領日印	

※この用紙は、大切に保管してください。

寄付金の使い道をご指定の場合は、通信欄にご記入ください。

寄付者ご芳名(敬称略)

2026/1~2026/6
寄付者一覧表(五十音順)

毎月寄付者

相川絵理子 公益社団法人 アニマル・ドネーション 石井重則 石曽根泰久 小倉智恵子 窪野幸子 黒木敬子
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 坂巻忠彦 砂沢トメ ガイドードリンク株式会社 高橋杏奈 竹内靖子
株式会社 Dr.YUJIRO 西岡千秋 張替邦夫 津由利子 武藤美和子 UK ONLINE GIVING FOUNDATION ロイヤルハウジング販売株式会社
ロイヤルリゾート株式会社 脇田昌実 ワタベミツキ

一般寄付者

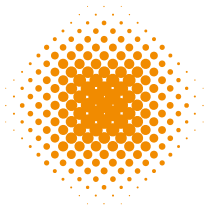
株式会社アイ・ステーション 芥川美奈子 アシード 株式会社 東みちよ 足立美咲 阿部弥生 天野由利子 新井辰志
飯泉麻結 池谷妙子 池永公美子 市川祐子 市村玲 伊東裕美子 伊藤芳江 伊藤美子 伊福千恵 今村幸恵 岩井博
岩成明子 梅原千佳子 梅本公代 永福誠也 株式会社エーエス 江口匠 M.A 株式会社 LITR 近江屋良子 大社淑子
大西ヤエ子 大西由紀子 大東貴代美 大屋悦子 小川美姫 奥田世理子 小田川陸美 落合榮子 小野賀永子 恩田佳子
笠浪博 梶田芳江 金谷明彦 壁内亜由子 木内聖子 菊池富久子 岸弘子 岸川紀子 北江身子 北浦重彦 北川七代
北村美代子 木村慎一 久貝健 久野文代 久保田馨 黒岩貴子 黒坂敬子 黒田奈津子 小泉真知子 小林知仁
小林雅子 小林光世 齋藤うらら 齊藤真喜子 坂英樹 酒井幸子 坂本健 佐久間修 迫田久恵 笹井幸恵 佐々木よし子
佐藤 陽子 塩見 健二 塩見有季 信濃 浩子 篠崎 明美 嶋田 文恵 清水 マリ子 下川 利恵 白石 直子
一般社団法人 明治神宮崇敬会 杉本久美子 杉山良枝 鈴木真貴子 鈴木秀雄 鈴木礼子 関根輝江 高木みどり 高橋ひとみ
高橋極子 瀧澤恵里子 田口千米子 竹内靖子 竹下淳也 武田志保子 竹田澄子 田地紫野 多田啓子 立澤香織
龍野せつ子 館野芳之 田中綾子 田部雅彦 谷原真知子 為永亜里子 垂水洋子 角井さよ子 寺田淳子 照井正治
一般社団法人 常磐会 富田獣医科病院 豊嶋純子 豊島泰子 永井加代子 中川宜是 中川美代子 長坂蓉子 中澤咲子
中島紀史子 中条商事株式会社 長田祐子 中之島まつり募金 中村史子 納村道一 成瀬富美子 西浦花也 西原範子
西原秀雄 西村和子 公益財団法人 日本いけばな芸術協会 沼波晃司 野口聡子 野田嘉一 橋本勝子 羽田野宮子 畑山玲子
服部悦子 花岡幸嗣 浜中光子 panjaman deli 立野 正之 比嘉真子 久野幸子 一般財団法人兵藤哲夫アニマル基金 平井潤子
平野絵里奈 廣橋幸子 株式会社 フェニックス 福居まり 福見明子 福山和勇 藤田裕行 藤田三香 藤永隆一 富士水美樹
藤村真奈美 松浦真理子 松岡吉次 Mc Daid James Philip 松野明子 三木教代 水田哲郎 溝口健治 三ツ橋真澄
緑川幸子 江戸川区立南小岩小学校 宮入典子 宮崎由美 宮本八千代 村上寿子 村田智子 村田喜代美 目崎久仁子
望月和代 森英子 森本直子 森谷悦子 森脇幸 矢島恵美 安井節子 梁瀬美佐子 山岸康 山口和子 山田協子
山田昌子 山田征子 株式会社 山と溪谷社 山本素子 山本清美 山本京子 山本利恵 山浦江里子 八幡悦子
有限会社 saintarrowone 夕川久光 吉川広明 吉田康子 吉本文江 ロイヤルハウジング株式会社 Robert D.Neil Hansen
六畳ブック 渡辺秀 渡辺郁与

動物関連用品ご寄付者

池谷妙子 今井のぶえ 小野寺 加藤佳代子 古賀義美 齋藤まゆみ 佐藤 嶋津若子 庄司美佐子 杉原恵子 たかの
竹内真奈美 ボラン動物病院 宮川 矢島規容子

使用済み切手・葉書等ご寄付者

(株) Re. アイギスセキュリティ(株) 愛知淑徳大学学生部教務課 赤羽医院 浅野アタカ(株) 朝日インテック(株)グローバル本社 R&D センター
畔田 優 妃乃 安達妙子 (株) アリヤス 設計 コンサルタント イースタン・カーライナー(株) 飯田 裕子 池田 久美
(福)池田市社会福祉協議会居場所「つむぎ」 池谷妙子 池田由記子 池手真由美 池永公美子 石井仁美 石川由紀
石山礼子 伊勢度会ロータリークラブ 板倉 隆 市川由美 (株)イッコウ (株)日進堂印刷所 伊藤電業(株) 伊藤直江 伊藤玲子
糸満素子 伊奈宏 井上多賀子 今金町農業協同組合 上野美絵 内山久美子 梅原千佳子 (株) HHC (株)エコビジョン
(株) SHS シートメタル (株)エスワイプロモーション (株) NNC エンジニアリング M.ZELMAN 大小島文代 大塚雅子 大塚
オーテックス 24 (株) 大橋恵美子 (株)オービーエス 岡谷建材(株)本社 岡田典子 岡部郁子 岡本麻紀 奥野早苗 桶兼住設(株)
尾崎昭子 鬼塚節子 小野里工業(株) 小野原光子 (株)ガーデンリゾート悠の湯 風の季 河西政美 桂川 加藤あゆみ 加藤真琴
(公財) 神奈川県公園協会 金澤美津枝 狩野昌子 軽井沢駅前郵便局 川井令子 河田香織 川田真由美 川原浩
(株)川本製作所総務人事課 木村 (株)九州クラフト工業 協業組合カンセイ (福)京都市社会福祉協議会参加支援部 京免愛子
(有)協立産業 金城麗玉 きんでん関西サービス(株)神戸支店 空港通りの動物病院 熊倉あやの 清原貴美 黒澤工業(株) 黒田さとみ
黒田早苗 県北木材協同組合那珂川工場 高師尚実 上妻司法書士事務所 合同会社ワイズ 合同会社 ASK 古賀智子 小金由紀子
越谷アスコン(株) 越野一恵 小島由香 後藤彰子 後藤康恵 小宮恵子 NPO 法人こらぼネット・かながわ コンドウイマコ
三枝裕政 齊藤紀子 (有)坂入商店 坂内美佳 佐竹芳朗 佐藤美香 (株)佐藤工務店 (株)サトシゲ 澤木晴日 三栄建設(株)
(株)サンセール 三明総業(有) 塩野一美 篠崎千昭 柴山聡美 島本祐里 (株)ジャパンエコロジー 庄司美璃 上東聡美
白石恵子 (株)シンク 新藤清恵 瑞晃化学(株) (医) 慧風会横浜りゅうクリニック 杉田はるな 鈴木正子 鈴木美香 陶山美代子
(宗) 生長の家滋賀教区対社会活動支援部 生長の家兵庫県教化部 関根裕子 (一財) 全国中小企業共済財団 仙台市健康福祉局保健所医務業務課
双栄基礎工業(株)東京支店 染谷和美 (株)大京アステージ千葉支店 大興化成商事(株) ダイダ(株)東北支所 大同スターテクノ(株)



(株)ダイレイ 大和リース(株)横浜支店流通建築リース営業所リース管理課 高坂くりえい いびろアートスクール タカハシ 高橋あやの
高橋義行 高濱雅代 高宮尚子 卓トレ 田栗恵子 竹内久美子 武雄法律事務所 田中誠一 田中照美 谷順子 玉澤恵美子
(株)タマホームサービス 樽角榮子 筑紫野 天拝の郷 (株)テクノコーポレーション てんしんらんまんラッキー (株)東海テック
(一社)東京都トラック協会練馬支部 東光工業(株) 東工シャッター(株) 道田由加里 トータルオフィス 都甲美紀 栃木支部
トライエージェンシー DranV basement 杉山ヒロフミ 中川理又子 長嶋葉子 長沼里沙 中野寿人 長野支部 中野ハガネ(株)
中野寿人 長町真理子 (福)名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンター 灘本里香 檜崎梨絵 二階堂あやか 西野浩子
(株)ニチエコ (株)NIPPO 埼玉統括事業所 日本工装(株) CSC 九州 日本全業工業(株) 猫の額 (株)野口工業 野村美奈子 (株)榛原
箱根植木(株) 橋本美代子 服部製紙(株) はとがや動物病院 パナソニックエレクトリックワークス労働組合関東地区協議会新潟分会
馬場弘之 濱野敏美 林優子 原妙子 原優子 東本絵理子 平野香 平間しづか 深田亮子 福岡建材(株)
(一社)福島県消防設備協会 副島美菜子 (株)福設 不二製油(株) 藤田開代 藤原里佳 古川雅信 ペットサロン ウェル
豊國商事(株)総務部 細谷とみよ 堀内光雄 本田知子 本間弥生 升水久乃 松浦一枝 松田美咲 丸上サンエー設備(株)
丸芳木材工業(株) 溝口庸子 道林みゆう太 三井倉庫(株) 三井ミナハナイト・メタル(株) (株)ミット 三菱鉱石輸送(株) (株)宮城環境保全研究所
三宅 棟方由美子 村上真奈美 村田喜代美 持留宗一郎 森明美 森岡英人 森佳緒理 森美樹 森裕子 八幡悦子
(株)矢部工業 山敷真 山下生子 (株)山田 山田昌子 (株)山電 山中漆器木地生産協同組合 山本飛鳥 山本由香
(株)UACJ 物流 有料老人ホーム善の心 (公社)横浜市獣医師会 (福)横浜社会福祉協議会横浜市永田地域ケアプラザ 吉川恵子 吉川由紀恵
(株)ライフ・サポート LEAF ロジスネクストジャパン(株) Y.A.P.S. 山形動物愛護を考える会 渡邊邦章 (株)ワタナベ製作所



会員継続と会費納入のお願い

当協会の動物福祉活動は支援者の方々からのご寄付と会員の方々の会費で成り立っています。全国の当協会会員（支部管轄地域を除く）及び一般（非会員）の方を対象とした犬猫の不妊去勢手術の助成事業を行っております。動物福祉啓発の為に各種セミナーもご好評を頂いております。こうした地道な活動を継続、拡大するには安定した資金源が必要であり、その観点からのご寄付に加えて、会員の基盤を強固にしていく事が大事だと考えております。動物福祉に興味を持たれておられる方には、是非、皆様から入会をお奨めいただきたく、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

会員種別

維持会員（S） 7,000円*
賛助会員（A） 3,000円
青少年会員（J） 1,000円
*正会員2名の推薦が必要です。

ご送金先口座番号は事務局までお問い合わせください

尚、会費納入方法に従来の郵便振替・口座自動振替に加えてWEB決済（クレカ決済）が加わりましたので17ページをご参照下さい。

ご寄付のお願いと関連する税優遇措置について

皆様からのご寄付は全て私どもの動物福祉活動資金として活用されています。2026年度の収支予算においては、収入面では会費 37.9 百万円、寄付金 53.5 百万円を見込んでいますが、一方で、支出面では「いぬねこ不妊去勢手術費用支援事業」を含む不妊・去勢手術助成金や動物救護活動費用を始め公益事業拡充のための積極的な予算を組んでおり、資金確保が重要な課題となっています。そのため、当協会では会員数の増加とともに、もう一本の柱であるご寄付についても、幅広いご支援をお願いいたしております。

寄付金の使い道

ご寄付の際は、以下の用途をご指定頂けます。ご送金頂く際、郵便振替用紙の通信欄に基金名をご記入ください。

※ご指定が無い場合、一般寄付として受領させていただきます。

動物救護基金

動物の保護・新しい飼い主探し等のご寄付

不妊・去勢手術助成基金

飼い主のいない犬・猫を減らしていく、不妊・去勢手術のためのご寄付

一般寄付金

動物福祉理念の普及や、協会の全般的な活動のためのご寄付

ご寄付のお申し込みは HP または事務局まで

税制上の優遇措置の概略

公益社団法人日本動物福祉協会へのご寄付は、税制優遇措置の対象となっています。所得税、個人住民税、相続税について、それぞれに定められている条件を満たすことで、優遇措置を受けられます。なお、優遇措置を受けるためには申告が必要です。

※住民税における寄付金控除は、各都道府県および市町村の条例で指定されている場合のみ適用されますので、お住まいの都道府県および市町村にお問い合わせください。

◎税額控除（H23改正追加）		◎所得控除（従来型）	
控除額	（寄付金額－2,000円）× 40% ※対象となる寄付金額の上限は、総所得金額の40%相当額 ※控除税額の上限は、所得税額の 25%相当額	寄付金額－2,000円 ※対象となる寄付金額の上限は、総所得金額の 40%相当額	
◎個人住民税			
控除額	①都道府県が条例指定 （寄付金額－2,000円）× 4% ②市区町村が条例指定 （寄付金額－2,000円）× 6% ※重複指定であれば、（寄付金額－2,000円）× 10%		
◎相続税			
非課税措置	遺贈または相続財産の寄付は相続財産から除外(租税特別措置法70条) ※要件等の詳細は専門家にご確認ください		